



# 野生動物の生態とその被害を防ぐには

市では、平成25年4月から11月の狩猟解禁までの間に有害鳥獣捕獲隊の協力を受け、野生動物が有害鳥獣駆除として捕獲されました。

これから暖かくなるにつれ、野生動物の動きが活発化してきますので、農作物の被害や住民の皆さんの安全のためにも次のことにご注意ください。

## 被害を防ぐには

### 1. 野生動物が近寄らない環境を作る

●人間にとって商品価値のないものや、くず野菜、生ごみなどでも野生動物にとっては立派な食料です。そういったものを自宅の敷地内などに放置したり、食べられるような所に置かないよう心がけることが大事です。またごみステーションにごみを出す際も回収日の朝に出してください。  
●野菜、果樹類などの収穫後は、枝を切って新

たな実ができないようにすることや、畑の隅などの放置果樹も無くしてください。

またイノシシは、畑に撒いた堆肥や草刈りをした土地、さらには耕したあとの畑に大好物のミミズなどの昆虫を求めて出沒することもありますので十分ご注意ください。

### 2. 野生動物を近づけない

●ハクビシンやアライグマなどは、知らぬ間に人家の屋根裏や物置に住み着いていることがあったり、イノ

有害鳥獣捕獲頭数の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
イノシシ	409	344	430	338
アライグマ	76	39	104	109
ハクビシン	88	74	118	118
ニホンザル	27	15	8	8

シシなどは人家付近の耕作放棄地などが絶好の住み家となります。普段から適切な管理を心がけることが重要です。

●夕方から早朝にかけては活動が活発になりまます。冬期は特に暗くなるのが早いので外出の際は懐中電灯や音の出るものを携帯しましょう。

また、むやみに威嚇することは大変危険な行為です。出会ってしまった際には速やかにその場を離れてください。

### 3. 有害鳥獣被害減少への協力をお願い

●現在、安中市では狩猟期間外においては有害鳥獣捕獲隊の皆さんの協力により、適正な捕獲を行っています。ところが、有害駆除期間内の捕獲檻の設置などにご理解・ご協力をお願いいたします。

●駆除だけではどうしても完全な被害の減少という訳にもいかず、捕獲檻設置場所などにも安全上制限がある場合も想定されるため、住民の皆さんの自己防衛もお願いたします。

## イノシシ ~餌を求めてどこまでも~

野生の寿命は10~15才。子どもを春に産み栄養状態がよければ非常に繁殖力が高くなります。非常に頭がよく、学習能力は犬なみ。音、光、においにはすぐ慣れます。夜行性ではないのですが、とても臆病であるため、人のいない夜間に活動します。

耕作放棄地や、遊休農地は絶好の住み家です。山に居場所がないからイノシシは来るのではありません。里に美味しいものがあるから来るのです。

## アライグマ・ハクビシン ~人間の身近に生息~

イノシシと同様に子どもを春に産み、廃屋や倉庫、まれに人家の屋根裏などに住み家を作る。主に夜行性で手先が器用であるため、防護柵などでは防ぎきれない場合もあります。食性は雑食性で人間の食べるものであればほとんどのものを食べます。

## 問合せ▼

農林課 林政係

(☎内線2618)